

# わらびて

140号

## 主な内容

- ▶平成30年度に市町村等が行った県内発掘調査
- ▶令和元年度(公財)岩手県埋蔵文化財センターが行う調査
- ▶世界遺産登録に向けて 岩手の遺跡
- ▶イベントレポート 復興調査展 in 山田町
- ▶イベントのお知らせ・人事動向

埋蔵文化財センターでは毎年児童を対象にして埋蔵文化財や考古学への興味を深めてもらうための体験教室を開いています。平成30年度は7月26日(木)から27日(金)にかけて「夏休み!みんなで考古学者2018」を実施しました。表紙の写真はその時の様子です。女の子が着ているのはアングインという縄文時代から続くといわれる技法によるもの、右側は竪穴住居の模型です。

【所報名について】「わらびて」は蕨手刀(わらびてとう)に由来しています。蕨手刀は、奈良～平安時代初期に使われた鉄製の刀で柄頭が早蕨(さわらび)の芽を巻いた状態に似ていることからこう呼ばれます。群集墳などから出土し、東北地方、特に岩手県で多く出土しています。



## 平成 30 年度に市町村が行った県内発掘調査

平成最後となった昨年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査の多くは、個人住宅建築をはじめとする民間開発事業や市町村公共事業に関連した調査です。このほか、現状保存された史跡などの内容確認調査も行われています。

### 縄文・弥生時代

縄文時代については沿岸地方で大きな成果が上がっています。宮古市の早稲<sup>わ</sup><sup>せ</sup><sup>ど</sup><sup>ち</sup>Ⅱ遺跡では公共事業関連での調査が実施されましたが、同遺跡は中期の集落跡で、竪穴住居跡4棟、土坑10基のほか、前期から晩期にわたる土器、石器、石製品などが発見されました。大船渡市の長谷堂<sup>どう</sup><sup>かい</sup><sup>づ</sup><sup>か</sup><sup>く</sup>ん塚群は個人住宅関連で2箇所<sup>箇所</sup>にわたる調査が実施されましたが、竪穴住居跡、墓壇、土器埋設遺構、貯蔵穴のほか、人骨や獣骨、縄文時代の早期、後晩期の土器、土偶など多様な遺構、遺物が確認されています。県北の野田村の野田<sup>た</sup><sup>て</sup><sup>あ</sup><sup>な</sup>竪穴<sup>な</sup>か<sup>た</sup>い(中平)遺跡からも竪穴住居跡や前期の遺構や土器などが確認されました。



【写真：野田村・野田竪穴遺跡調査状況】

一方、内陸の盛岡市の大新<sup>だい</sup><sup>しん</sup><sup>ち</sup>ょう遺跡では竪穴建物跡7棟が、同じく盛岡市の繫<sup>つ</sup>な<sup>ぎ</sup>Ⅴ遺跡からは竪穴建物跡が5棟発見されました。軽米町の千本松<sup>せん</sup>ぼんまつ遺跡では以前確認された配石遺構群の周辺調査が昨年<sup>せん</sup>に引き続き行われました。工業団地造成のために行われた成田岩田堂<sup>なり</sup>たいわ<sup>た</sup>どう<sup>た</sup>て館跡の調査では土坑が39基見つかっており、この場所がかつて狩場であったことがわかりました。

弥生時代では住宅建設関連で行われた北上市の道地<sup>どう</sup>ち遺跡が弥生時代の集落跡であることが確認され、竪穴住居や弥生土器が発見されました。

### 古代

宅地造成に伴って調査が実施された盛岡市の西鹿渡<sup>にし</sup>か<sup>ど</sup>遺跡からは奈良時代の竪穴建物跡5棟が確認されています。また、縄文時代晩期の遺跡として有名な一戸町の<sup>まく</sup>まえ<sup>ま</sup>え<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>ま<sup>え</sup>遺跡からも奈良時代の竪穴建物跡が見つかっています。

奥州藤原氏関連の遺跡が多く所在する平泉町では昨年度も16箇所<sup>箇所</sup>の遺跡の調査が行われました。藤原氏関連の遺跡として有名な無量光<sup>む</sup>りょうこう院跡<sup>いん</sup>、中尊寺跡<sup>ちゅう</sup>そんじあと、観自在王院跡<sup>くわん</sup>じざいおういんあと、西光寺跡<sup>さい</sup>こうじあとでは、内容確認調査が実施されており、無量光院跡では石敷や築地塀、井戸跡などが、中尊寺跡からは礎石や根石などが確認されました。

二戸市の前小路<sup>まえ</sup>こうじ遺跡では昨年度も8回にわたる調査が実施されましたが、8回の調査で計17棟の平安時代の竪穴住居跡が確認されています。

### 中近世・近代

保育園や個人住宅建設に伴って発掘調査が実施された盛岡市の里館<sup>さと</sup>たて遺跡では中近世の掘立柱建物跡10棟が確認されました。花巻市の花巻城<sup>はな</sup>まきじょう跡<sup>あと</sup>では本丸御殿の確認を目的とした調査が行われ、その結果、古絵図との比較を通して、御殿建物を構成する複数の礎石痕跡や造成層が比較的良好的に残されていることがわかりました。

史跡整備のために発掘調査が行われた盛岡城跡<sup>まさ</sup>がたでは三ノ丸石垣、台所門<sup>たい</sup>所<sup>ま</sup>かた形石垣の調査が実施されています。

住田町の栗木鉄山<sup>くり</sup>き<sup>てつ</sup>さんあと跡は明治14年から大正8年まで稼働していた製鉄遺跡ですが、今回保存目的での調査が実施され、製鉄関連遺構5基、鍋・鉄瓶等の<sup>い</sup>が<sup>た</sup>鋳型として使われた土製品や、<sup>やす</sup>すり<sup>り</sup>鍋、スパナ、針金等の鉄製品、耐火煉瓦等が発見されました。

【岩手県教育委員会生涯学習文化財課】



平成30年度に市町村教育委員会が行った発掘調査一覧



No.	遺 跡 名	所在地	調査主体	時 代	種 別
1	外久保遺跡	九戸村	九戸村教育委員会	古代	集落跡
2	堀野遺跡群	二戸市	二戸市教育委員会	縄文	集落跡・ 祭祀跡・ 古墳
3	堀野遺跡群	二戸市	二戸市教育委員会	縄文	集落跡・ 祭祀跡・ 古墳
4	下構遺跡	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落跡
5	天台寺遺跡	二戸市	二戸市教育委員会	古代・中世	寺院跡
6	中曽根遺跡	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落跡
7	前小路遺跡(第56次)	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落跡
8	前小路遺跡(第57次)	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落跡
9	前小路遺跡(第58次)	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落跡
10	前小路遺跡(第59次)	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落跡
11	前小路遺跡(第60次)	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落跡
12	前小路遺跡(第61次)	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落跡
13	前小路遺跡(第62次)	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落跡
14	前小路遺跡(第63次)	二戸市	二戸市教育委員会	古代	集落跡
15	蒔前遺跡(第5次)	一戸町	一戸町教育委員会	縄文・古代	散布地
16	盛岡城跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	中世・近世	城館跡
17	里館遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	中世	城館跡
18	西鹿渡遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	古代	集落跡
19	大新町遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	縄文	集落跡
20	下永林遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	縄文・古代	散布地
21	里館遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	中世	城館跡
22	赤裏遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	縄文・古代	散布地
23	細谷地遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	縄文・古代・ 近世	集落跡
24	向中野幅遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	縄文・古代	集落跡
25	繫V遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	縄文	集落跡
26	安倍館遺跡	盛岡市	盛岡市教育委員会	中世	城館跡
27	才土地遺跡(第2次)	紫波町	紫波町教育委員会	古代・中世	集落
28	善念寺山遺跡(第1次)	紫波町	紫波町教育委員会	縄文	散布地
29	安俣城跡	花巻市	花巻市教育委員会	中世	城館跡
30	不動Ⅱ遺跡	花巻市	花巻市教育委員会	縄文・古代・ 中世	集落跡 城館跡
31	大谷地Ⅱ遺跡	花巻市	花巻市教育委員会	縄文・古代	散布地
32	花巻城跡(本丸跡)	花巻市	花巻市教育委員会	中世・近世	城館跡
33	赤川Ⅱ遺跡	遠野市	遠野市教育委員会	縄文	散布地
34	卯ノ木遺跡	北上市	北上市教育委員会	縄文・平安	集落跡
35	成田岩田堂館跡	北上市	北上市教育委員会	縄文	散布地
36	奥州街道跡	北上市	北上市教育委員会	近世	街道

No.	遺 跡 名	所在地	調査主体	時 代	種 別
37	牡丹畑遺跡	北上市	北上市教育委員会	古代	集落跡
38	道地遺跡	北上市	北上市教育委員会	縄文・弥生	散布地
39	成田遺跡	北上市	北上市教育委員会	縄文	集落跡
40	妻川遺跡	北上市	北上市教育委員会	古代・中世・ 近世	集落跡
41	鳥海柵	金ヶ崎町	金ヶ崎町教育委員会	平安	城柵跡
42	川岸場Ⅰ遺跡	奥州市	奥州市教育委員会	縄文・弥生・ 古代	散布地
43	下河原館(内館)遺跡	奥州市	奥州市教育委員会・ 個人	縄文・中世	散布地 城館跡
44	胆沢城跡第110次	奥州市	奥州市教育委員会	平安	城柵跡
45	胆沢城跡第111次	奥州市	奥州市教育委員会	平安	城柵跡
46	胆沢城跡第112次	奥州市	奥州市教育委員会	平安	城柵跡
47	胆沢城跡第113次	奥州市	奥州市教育委員会	平安	城柵跡
48	長者ヶ原廃寺跡第16次	奥州市	奥州市教育委員会	古代	寺院跡
49	衣川遺跡群	奥州市	奥州市教育委員会	古代ほか	
50	無量光院跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	寺院跡
51	中尊寺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	寺院跡
52	祇園Ⅰ遺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	散布地
53	花立Ⅱ遺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	社寺跡
54	観自在王院跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	寺院跡
55	祇園Ⅱ遺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	散布地 社寺跡
56	祇園Ⅲ遺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	散布地 社寺跡
57	伽羅之御所跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	城館跡
58	伽羅之御所跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	城館跡
59	西光寺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	寺院跡
60	志羅山遺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	屋敷跡 他
61	中尊寺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	寺院跡
62	中尊寺跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	寺院跡
63	無量光院跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	寺院跡
64	無量光院跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	寺院跡
65	無量光院跡	平泉町	平泉町教育委員会	平安	寺院跡
66	赤荻館遺跡	一関市	一関市教育委員会	中世	城館跡
67	猫館遺跡	一関市	一関市教育委員会	中近世	城館跡
68	平泉野遺跡	一関市	一関市教育委員会	縄文・平安・ 近世	散布地
69	骨寺村莊園遺跡	一関市	一関市教育委員会	中世	莊園
70	長谷堂貝塚群	大船渡市	大船渡市教育委員会	縄文	貝塚 集落跡
71	長谷堂貝塚群	大船渡市	大船渡市教育委員会	縄文・弥生	貝塚 集落跡
72	栗木鉄山跡	住田町	住田町教育委員会	近代	製鉄跡

No.	遺跡名	所在地	調査主体	時代	種別
73	屋形遺跡	釜石市	釜石市教育委員会	縄文・古代	集落跡・貝塚
74	屋形遺跡	釜石市	釜石市教育委員会	縄文・古代	集落跡・貝塚
75	橋野高炉跡	釜石市	釜石市教育委員会	近世・近代	製鉄跡
76	横瀬遺跡	釜石市	釜石市教育委員会	縄文・古代	集落跡
77	横瀬遺跡	釜石市	釜石市教育委員会	縄文	集落跡
78	早稲橋Ⅱ遺跡	宮古市	宮古市教育委員会	縄文	散布地
79	花原市遺跡	宮古市	宮古市教育委員会	縄文・弥生	集落跡

No.	遺跡名	所在地	調査主体	時代	種別
80	花原市遺跡	宮古市	宮古市教育委員会	縄文・弥生	集落跡
81	野田堅穴(中平)遺跡	野田村	野田村教育委員会	縄文・古代	集落跡
82	野田堅穴(中平)遺跡	野田村	野田村教育委員会	縄文・古代	集落跡
83	平清水Ⅲ遺跡	野田村	野田村教育委員会	縄文・古代	集落跡
84	沼Ⅰ遺跡	軽米町	軽米町教育委員会	縄文	散布地
85	堰ノ下Ⅰ遺跡	軽米町	軽米町教育委員会	縄文	散布地
86	千本松遺跡	軽米町	軽米町教育委員会	縄文	散布地



## 平成30年度に岩手県教育委員会が行った発掘調査一覧



No.	遺跡名	調査期間	所在地	調査主体	調査の目的、種類等	時代・種別
1	大日向Ⅱ遺跡	平成30年7月11日～13日	軽米町	岩手県教育委員会	開発事業(道路)	縄文・集落跡



## 令和元年度

### (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの調査

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターでは、県内の4市(盛岡市・北上市・陸前高田市・宮古市)3町(紫波町・矢巾町・洋野町)で11遺跡、面積で109,778㎡の発掘調査を予定しています。沿岸部での復興道路関係の発掘調査が終息を迎える一方、県南内陸部での企業誘致関連事業に係る調査により前年の約2倍の調査面積となっています。

#### 縄文・弥生時代

継続調査となる洋野町の板橋Ⅱ遺跡、北玉川遺跡では、陥し穴状遺構、縄文時代後期の住居跡がさらに広がりをもって見つかる予想されます。同じく継続調査の盛岡市の岩洞湖E遺跡では、渇水時に見られる陥し穴状遺構の検出が予想されます。

北上市の二子城跡では、過去に弥生時代前半の住居跡が見つかっており、同じ時代の遺構が見つかる予想されます。宮古市の沼里遺跡、根井沢穴田Ⅳ遺跡は調査区が狭小ですが、昨年までの調査でこの時代の住居跡が見つかっており遺構の分布域が拡大すると思われます。

#### 古代～中世

最近の当センターの発掘調査事業では、中世前後の遺跡を調査する機会が増えています。今年度も、紫波町の北条館跡、北上市の二子城跡・成田岩田堂館跡、陸前高田市の米崎城跡の調査が予定されています。前年度に引き続きの調査

となる北条館跡では、古代の住居跡や12世紀代、さらにそれ以降の溝跡・カマド状遺構・掘立柱建物跡などの発見が予想されます。土塁が現存する、成田岩田堂館跡は平成19年に当センターが行った調査結果から、館に関連する堀や縄文時代の陥し穴状遺構が見つかる予想されます。和賀氏の本城とされる二子城跡については、県・市からの受託分計約40,000㎡について調査を進める予定です。

#### その他

東日本大震災の後、平成25年度から平成29年度までの5年間、当センターは県外から13名の埋蔵文化財調査員のご支援をいただきました。そのおかげもあって県内の復興調査は山場を越し、一段落したところですが、福島県では現在も復興に向けた調査が数多く行われています。今年度も、復興関連の発掘調査の支援として、(公財)福島県文化振興財団へ1名の調査課職員を派遣しています。



令和元年度（公財）埋文センターが行う発掘調査一覧



No.	調査遺跡名	フリガナ	市町村	事業名	調査面積 (㎡)	主な時代
通常調査	1 北条館跡	ホウジョウダテアト	紫波町	北上川緊急治水対策事業	6,760	中世
	2 岩洞湖 E 遺跡	ガンドウコイー	盛岡市	国営磐手山麓農業水利事業	968	縄文
	3 成田岩田堂館跡	ナリタイワタドウ タテアト	北上市	北上市終末処理場建設事業	62,386	中世
	4 二子城跡	フタゴジョウアト	北上市	北上市特定公共下水道 終末処理場整備事業	18,000	中世
	5 二子城跡	フタゴジョウアト	北上市	第一北上中部工業用水道 浄水場整備事業	10,901	中世
	6 上矢次 I 遺跡	カミヤツギ 1	矢巾町	一級河川岩崎川筋上矢次地区 河川改修 (その 9)	1,700	縄文
小計				通常調査計	100,715	
復興関連調査	7 米崎城跡	ヨネガサキジョウアト	陸前高田市	防潮堤関連付帯道路	2,650	中世
	8 北玉川遺跡	キタタマガワ	洋野町	三陸沿岸道路	2,680	縄文
	9 沼里遺跡	ヌマリ	宮古市	三陸沿岸道路	305	縄文・古代
	10 根井沢穴田IV遺跡	ネイサワアナタ 4	宮古市	三陸沿岸道路	158	弥生・古代
	11 板橋 II 遺跡	イタバシ 2	洋野町	三陸沿岸道路	3,270	縄文
小計				復興関連調査	9,063	
				総計	109,778	

※ 4 月開始時点



北条館跡



伝吉 II 遺跡

## 現地説明会 の開催

発掘調査現場では、現地説明会等を開催し調査成果を一般の方々に公開しています。詳細は当埋蔵文化財センターのホームページをご覧ください。また、ホームページでは各遺跡の調査の進展状況も掲載していますので併せてご覧ください。



◀ 昨年開催した万丁目遺跡現地説明会

## 岩手の世界遺産

岩手県文化スポーツ部文化振興課  
世界遺産課長 佐藤嘉広

### ○「平泉」

2011年6月、「平泉」が本県初の世界遺産に登録されました。平泉の「仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」としての価値が「顕著で普遍的」なものとして認められたのです。

平泉は、2度目の挑戦により登録が実現しました。当初、「浄土思想を基調とする文化的景観」としての価値を主張しましたが、イコモス(文化遺産の価値を審査する機関)から認められませんでした。そこで、主張する価値の観点を変更し、再度推薦書を提出しました。



毛越寺の浄土庭園

しかし、登録された「仏国土(浄土)」の価値は、文化庁や関係する自治体にとっては「平泉」の価値の一部に過ぎないと受け止めました。そのため、登録の翌年(2012)から3度目の挑戦に向けて取り組んでいます。当初推薦しながら、未だ登録が実現していない「仏国土(浄土)」の周辺に点在する遺跡について拡張しようとするものです。

拡張については、顕著な普遍的価値の証明途上です。専門家委員会は、候補としている遺跡すべての価値を証明するためには、長期的な調査研究が必要であるとする見解であり、今後の進め方が課題となっています。

### ○「明治日本の産業革命遺産」

2015年7月、「平泉」に次いで「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界遺産に登録されました。この資産は、岩手県ほか、

鹿児島県や長崎県など8県に所在しています。

日本は、幕末から明治にかけて欧米列強から強い圧力をうけながらも、それらからもたらされた技術を吸収し、産業の転換に成功しました。アジアで初めて達成された産業革命の過程を示す、23の遺跡や建物などに顕著な普遍的価値が認められました。

資産は九州地方を中心に分布していますが、釜石市橋野鉄鉱山は、西洋の技術によって製鉄に成功したことを示す日本最古の遺構であり、資産の価値を説明するうえで不可欠なものとして、世界遺産の一部を構成しています。また、鉄鉱石の採掘から運搬・加工に至るまでの一連の工程を示す遺構群が含まれ、橋野鉄鉱山は史跡橋野高炉跡よりも広い範囲に及んでいます。



橋野鉄鉱山(高炉場跡)

### ○「縄文遺跡群」

現在、岩手県・青森県・北海道・秋田県に所在する17遺跡を世界遺産に登録する取組を進めています。岩手県の候補は一戸町御所野遺跡で



御所野遺跡

す。北海道南部から東北地方北部に分布するこれらの遺跡は、全国の縄文遺跡のなかでも特に保存状態がよく、縄文時代のさまざまな遺跡の種類を網羅し、長期にわたる狩猟・採集・漁労民の定住生活のありかたと精神文化を具体的に示しています。

早ければ2021年夏ごろに、本県で3番目の世界遺産に登録されることが期待されます。

### ○世界遺産の保全と教育

世界遺産条約の趣旨は「人類共通の財産を国際的に保護していくこと」と読めるので、理念

は崇高です。しかし、現実には観光客増などによる経済効果など、別の期待もあるでしょう。

世界遺産の保全は国際社会全体の責務とはいえ、その主役は地域社会です。そのためには、守るべき世界遺産の価値を、現地で確実に共有できることが必要です。県では、世界遺産の保全と人材育成が表裏一体の関係にあると考え、児童・生徒への世界遺産教育に力を入れています。将来、彼ら彼女らが、世界遺産を保全する主体として確実に成長していくことを期待しているからです。



## 「縄文時代の山田湾と山々の恵みに驚き」 復興発掘調査展 in 山田町を開催

(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターでは、東日本大震災の発災以来復興工事に伴う発掘調査を沿岸全市町村で行いました。復興発掘調査展はその成果を地元の皆さんに公開するものです。平成30年度は9月28日(金)～30日(日)の3日間、山田町中央公民館で開催しました。

山田町では、三陸沿岸道路建設や防災集団移転促進事業などの工事に先立って13か所で調査を行っています。縄文時代早期から中世までの豊富な資料が見つっていますが、特に山田湾沿岸の縄文時代の大集落と古代から中世にかけて鉄づくりが盛んだったことが注目されます。

会場では、入り口に町内各地の遺跡から出土した縄文時代中期～後期の流麗な土器を展示しました。

遺跡ごとの調査成果を展示したコーナーでは、縄文時代の食生活を物語る魚介類や堅果類などのほか、遠方から運ばれたヒスイなどの貴重品など海と山の恵みにより繁栄した縄文時代の村の出土品や写真を展示しました。

また、山田町内では豊富な砂鉄を原料とした古代から中世の鉄づくりの遺跡が多く見つっ

ています。鉄を作る道具や鉄滓などの副産物のほか遺跡から切り取った製鉄炉そのものも展示しました。

来場した皆さんからは、「出土品の多さにびっくり。土器に興味を持ちました。」「土器のもよりの意味が知りたい。」「地元から発掘されたこと知り、感動した。」などの感想が寄せられました。

30日には主な遺跡の報告会を開催し、担当調査員が調査の成果についてスライドを使って報告し、会場から多くの質問が寄せられました。

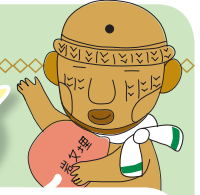
埋蔵文化財センターでは、今後も沿岸市町村で復興発掘調査展を開催する予定です。



センター職員が出土した土器を解説

# 令和元年度 イベントのお知らせ

県立埋蔵文化財センター、(公財)埋蔵文化財センター



紹介のイベントは、一般の方に向けて入場はすべて無料です。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細が決まり次第、当センターのホームページ、博物館等に掲示するポスターでお知らせいたします。

## 夏休み みんなの考古学 2019



体験教室

**期日** 令和元年 7月 29日(月)・30日(火)

**場所** 岩手県立埋蔵文化財センター

土器パズルや発掘・測量体験など、楽しい内容がいっぱい。遺跡や出土品についてわかりやすく教えてくれるから、夏休みの自由研究におすすめ。「こども考古学者認定証」をゲットしよう。

## 復興発掘調査展 in 田野畑村

**期日** 令和元年 11月 2日(土)  
～ 11月 6日(水)

**場所** 田野畑村アズビィ楽習センター

田野畑村では震災からの復興事業に伴う調査が、昨年度までに 10 遺跡で行われました。

この成果を広く公開するため展示会を開催します。ふるさとの歴史に触れていただければ幸いです。たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

## 人事動向 (平成31年 4月 1日付)

### 岩手県立埋蔵文化財センター

- ◆ 退職 .....  
副所長 鎌田 勉
- ◆ 転入 .....  
副所長 岩淵 計 一関市立新沼小学校副校長

### (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

- ◆ 退職 .....  
主任主査 中嶋 賢一
- ◆ 転出 .....  
文化財専門員 菊池 貴広  
県教委事務局生涯学習文化財課 文化財専門員  
文化財専門員 小林 弘卓  
総務部主査
- ◆ 出向 .....  
文化財専門員 須原 拓  
(公財)福島県文化振興事業団遺跡調査部文化財主査



発行 岩手県立埋蔵文化財センター  
編集 (公財)岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター  
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185  
電話 019-638-9001  
URL <http://www.iwate-maibun.jp/>  
発行日 令和元年6月28日  
印刷 東京カラー印刷株式会社